

平成 25 年 4 月 18 日

各位

会社名 モーニングスター株式会社
(コード番号 4765)
(上場取引所 大阪証券取引所 JASDAQ)
代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
開示責任者 取締役管理部長 小川 和久

「Gomez IR サイトランキング 2013」の発表について ～創意工夫と改善を重ねる「ソフトバンク」と「カプコン」が第 1 位を獲得！～

中立的な第三者としての立場から E コマースや各種ウェブサイトの客観的な評価・比較を行うモーニングスター株式会社（以下、当社）は本日、「Gomez IR サイトランキング 2013」を Gomez のウェブサイト（<http://www.gomez.co.jp/>）上で発表しました。

この調査は毎年、国内の上場企業が提供する株主・投資家向け広報（IR）サイトの使いやすさや情報の充実度を評価することを目的として行っており、今回で 7 回目の発表となります。「ウェブサイトの使いやすさ」「財務・決算情報の充実度」「企業・経営情報の充実度」「情報開示の積極性・先進性」の 4 つの切り口から、主要ユーザーである投資家の視点に基づいて設定した 290 の調査項目により当社アナリストが評価を行い、総合的に優れた IR サイトのランキングを決定します。

「Gomez IR サイトランキング 2013」上位 10 社は、以下のようになりました。

順位	得点	会社名	前回※
1 位	8.80	ソフトバンク	4 位
1 位	8.80	カプコン	2 位
3 位	8.43	TDK	1 位
3 位	8.43	エヌ・ティ・ティ・ドコモ	2 位
5 位	8.33	東芝	8 位
6 位	8.25	KDDI	13 位
7 位	8.16	ミネベア	5 位
8 位	8.13	富士フイルムホールディングス	6 位
9 位	8.08	ベネッセホールディングス	12 位
10 位	8.01	コニカミノルタホールディングス	36 位

※ 「Gomez IR サイトランキング 2012」（2012 年 4 月 19 日発表）

※ 11 位以下のサイトについては、Gomez のウェブサイトをご覧ください。

また、新興市場（JASDAQ、マザーズなど）上場企業を対象にした「新興市場 IR サイトランキング」上位 5 社は、以下のようになりました。

順位	得点	会社名	前回※
1 位	6.68	フィールズ (JQ)	1 位
2 位	6.38	エムティーアイ (JQ)	4 位
3 位	6.28	ジュピターテレコム (JQ)	2 位
4 位	6.16	ハーモニック・ドライブ・システムズ (JQ)	3 位
5 位	6.08	ライフネット生命保険 (マザーズ)	新規

※ 「Gomez 新興市場 IR サイトランキング 2012」（2012 年 4 月 19 日発表）、JQ：JASDAQ の略

「IR サイトランキング 2013」総合ランキングは、ソフトバンクとカプコンが第1位となりました。

移動体通信事業などの通信事業を展開するソフトバンクは、圧倒的な情報量、インターネットの特性をフル活用した先進的な取り組みにより、「財務・決算情報の充実度」「情報開示の積極性・先進性」のそれぞれの評価カテゴリで最高評価を獲得。多彩な切り口の業績解説とアニュアルレポート、スマートフォンやタブレット端末への積極的な対応、ソーシャルメディアの活用（とりわけリアルタイム説明会中継や Twitter による Live Tweet など）のような先進的な取り組みなど、情報量のみならず、さまざまなテクノロジーを駆使して、いつでもどこでもリアルタイムに情報にアクセスできる利用環境を整えています。

そして、多数のヒットシリーズを持つゲームメーカー、カプコンは、自社の特徴、市場環境、業績、そして経営方針に至る練り込まれたストーリー展開とビジュアル重視の見やすい構成、コア・コンピタンスに焦点を当てたコンテンツなど、他社とは一線を画したユニークなコンテンツ戦略を展開するオンリーワンの IR サイトです。オンラインアニュアルレポートによる詳細な業績や戦略の解説、ソーシャルメディアやスマートフォンへの取り組みなども早く、すべてのカテゴリで最高ランクの評価となっています。

総評と IR サイトのトレンド

■132 社を 2013 年「IR サイト優秀企業」に選定

「IR サイトランキング 2013」の調査対象サイトは 3,502 社となり、前回調査よりも 33 社の減少となりました。そして、総合得点 6.00 点以上に贈られる「IR サイト優秀企業」に 132 社が選定されました。前回調査よりも 8 社の減少です。各種コンテンツの深み、あるいはソーシャルメディアやモバイルへの対応に関する調査項目を強化したことが影響しました。なお、新規（あるいは復活）選定サイトは 18 社となっています。

■変わり始めた IR コミュニケーションのカタチ

インターネット IR 先進企業の動向を上位 200 社の平均スコアから見てみると、2013 年調査ではコンテンツ面の改善が目立ちました。「財務・決算情報」は 6.40 点（前回 6.32）、「企業・経営情報」は 6.30 点（前回 6.09）と改善しています。一年間の経営成果や各種取り組みを HTML 形式によるアクセスしやすいフォーマットで提供する「オンラインアニュアルレポート」を採用するサイトが 30 社を超え（全ノミネート 502 サイト中）、全体的に業績や経営戦略上の取り組みと進捗をウェブ上で詳細に伝える企業が増加傾向にあることが主な要因です。また、役員報酬や社外取締役などのコーポレートガバナンス情報の深化も進んでいます。

その他、コーポレートサイトをスマートフォン最適化したサイトはノミネートサイト中 100 社を超え、前回比で約倍増。ソーシャルメディアへの対応は企業間で温度差があるものの、新着ニュースページに情報共有のためのソーシャルプラグインを埋め込むサイトは 70 社超となり、大幅に増加しています。従来型の紙・PDF を中心とした一方向的な情報開示から、インターネットテクノロジーの進化に対応したコミュニケーション型の情報提供へと変化の兆しが見えています。

■増える情報、消えゆく個性—同質化が進む IR サイト

他方、全体的に個性的なリニューアルが減り、IR サイトの同質化が進んできている点は気がかりです。優秀サイトを模倣、参考にしながらコンテンツやサイト構成を改善することが多いと思われますが、そこに自社独自の個性や特徴の追加や工夫が少なく、結果的に単なる均質サイト、コピーコンテンツに終わっ

てしまうケースが多くなってきたためと推測されます。これでは企業のことを投資家に正しく理解してもらうという IR サイト最大の目的を達成することができず、体裁が整っているだけで何も伝わらないサイトで終わってしまう危険性があります。ユーザーを満足させる IR サイトを構築するためには、自社の特徴や強み・弱み、将来への経営方針などを踏まえたストーリー展開とコンテンツ、ウェブ戦略に合わせた適切な情報構造とデザインが求められます。企業理解を深化させる IR サイトを実現させるためのより一層の工夫が期待されます。

トピックス (1) IR サイト優秀企業 2013

■IR サイト優秀企業：金賞（全 10 社）

得点	企業名
8.80	ソフトバンク
8.80	カプコン
8.43	T D K
8.43	エヌ・ティ・ティ・ドコモ
8.33	東芝

得点	企業名
8.25	K D D I
8.16	ミネベア
8.13	富士フイルムホールディングス
8.08	ベネッセホールディングス
8.01	コニカミノルタホールディングス

■IR サイト優秀企業：銀賞（全 36 社）

得点	企業名
7.83	日本電気
7.82	日本電信電話
7.79	東京瓦斯
7.77	三菱重工業
7.75	三菱商事
7.73	みずほフィナンシャルグループ
7.70	キリンホールディングス
7.66	ニコン
7.63	三井物産
7.62	東京海上ホールディングス
7.56	三菱UFJフィナンシャル・グループ
7.53	富士重工業
7.45	富士通
7.41	オムロン
7.38	アステラス製薬
7.30	住友商事
7.30	セガサミーホールディングス
7.28	伊藤忠商事

得点	企業名
7.28	エヌ・ティ・ティ都市開発
7.27	双日
7.26	アサヒグループホールディングス
7.26	オリエンタルランド
7.24	中外製薬
7.20	積水化学工業
7.17	ファーストリテイリング
7.16	J Xホールディングス
7.14	ソニーフィナンシャルホールディングス
7.12	トプコン
7.11	古河スカイ
7.11	富士電機
7.10	旭化成
7.04	東京エレクトロン
7.04	国際石油開発帝石
7.04	コスモ石油
7.01	日本郵船
7.01	エヌ・ティ・ティ・データ

■IR サイト優秀企業：銅賞（全 86 社）

Gomez のウェブサイトをご覧ください。

トピックス (2) 2012 年調査から改善著しい企業

今回も IR サイトのリニューアルや、情報・機能の追加により、ウェブ IR を強化する企業が数多くみられました。その中でも、とくに大きくスコアを伸ばした企業（2012 年調査時よりスコアを大きく伸ばした企業、および、前回ランキング調査対象外から大きくスコアを伸ばして今回ノミネート入りした企業）を選出しました。

■前回調査からスコアを大きく伸ばした企業

前回比	得点	会社名
+1.63	5.60	J. フロント リテイリング
+1.62	6.06	西日本旅客鉄道
+1.56	6.36	テルモ
+1.28	6.17	曙ブレーキ工業
+1.26	5.42	クレディセゾン
+1.26	5.69	楽天
+1.07	5.89	野村不動産ホールディングス
+1.05	6.38	日本電産
+1.03	5.73	日産車体
+0.95	5.63	J S R

■前回調査対象外から新規ノミネートした企業

前回	得点	会社名
対象外	6.62	イオン
対象外	6.08	ライフネット生命保険
対象外	5.84	トクヤマ
対象外	5.70	マーベラス A Q L
対象外	5.62	イオンディライト
対象外	5.38	ユニ・チャーム
対象外	5.35	日立造船
対象外	5.17	スター精密
対象外	5.09	日本空港ビルデング
対象外	5.04	東海東京フィナンシャル・ホールディングス

トピックス (3) 業種別ランキング第 1 位企業

業種	得点	会社名
水産・農林業	6.10	日本水産
鉱業	7.04	国際石油開発帝石
建設業※	5.26	住友林業
食料品	7.70	キリンホールディングス
繊維製品※	6.90	東レ
パルプ・紙	4.84	日本製紙グループ本社
化学	8.13	富士フイルムホールディングス
医薬品	7.38	アステラス製薬
石油・石炭製品	7.16	J Xホールディングス
ゴム製品	6.03	横浜ゴム
ガラス・土石製品	5.96	日本板硝子
鉄鋼※	5.39	新日鉄住金
非鉄金属	7.11	古河スカイ
金属製品	6.33	L I X I L グループ
機械	7.77	三菱重工業
電気機器	8.43	TDK
輸送用機器	7.53	富士重工業

業種	得点	会社名
精密機器※	7.66	ニコン
その他製品	6.72	パンダイナムコホールディングス
電気・ガス業	7.79	東京瓦斯
陸運業	6.85	ヤマトホールディングス
海運業	7.01	日本郵船
空運業	5.16	全日本空輸
倉庫・運輸関連業	5.20	郵船ロジスティクス
情報・通信業※	8.80	ソフトバンク／カブコン
卸売業	7.75	三菱商事
小売業	7.17	ファーストリテイリング
銀行業※	7.73	みずほフィナンシャルグループ
証券・商品先物取引業※	6.79	野村ホールディングス
保険業	7.62	東京海上ホールディングス
その他金融業※	6.08	リコーリース
不動産業	7.28	エヌ・ティ・ティ都市開発
サービス業	8.08	ベネッセホールディングス

※前回調査から第 1 位企業の変更があった業種

ご参考 (1) : 調査概要

- ・ 調査期間：2012 年 12 月 1 日～2013 年 3 月 26 日まで
(※ランキングデータは、2013 年 3 月 26 日までのものを反映)
- ・ 調査対象：2013 年 3 月時点の国内証券取引所上場企業 3,502 社
(※整理ポスト企業、および 2012 年 4 月以降の IPO・再上場企業はノミネートから除外)
- ・ 調査範囲：IR 情報、ならびに会社情報や CSR 情報が掲載されたページを調査
(※採用サイト、商用サイト、製品・ブランドサイト等は、評価範囲から除外)
- ・ 調査手順：
 - (1) 上記の調査対象企業について、約 20 項目の予備調査を行い、一定基準を満たす企業を最終調査にノミネート (2013 年調査では 502 社がノミネート)。
 - (2) ノミネート企業を 290 の調査項目からなるスコアカードに基づいて、当社のアナリストが実際にウェブサイトを使用しながら調査を行い、総合ランキングを決定。総合得点 4.00 以上の企業を Gomez ランキングサイトに掲載 (2013 年調査では 488 社が該当)。
 - (3) 総合得点 6.00 以上を IR サイト優秀企業として選定 (2013 年調査では 132 社が該当)。

ご参考 (2) : 評価カテゴリの名称と評価内容

カテゴリ名称	評価内容
ウェブサイトの使いやすさ	IR 情報を提供するウェブサイト全体のユーザビリティを評価するカテゴリです。情報の見つけやすさや各コンテンツの見やすさ・使いやすさ、ウェブ・アクセシビリティ基準への対応状況等を総合的に評価します。
財務・決算情報の充実度	財務や決算に関する情報量を評価するカテゴリです。ウェブサイト上に掲載されたディスクロージャ資料や説明会情報など、主に業績を中心とする定量的な情報の充実度を総合的に評価します。
企業・経営情報の充実度	企業や経営に関する情報量を評価するカテゴリです。事業や経営戦略、コーポレートガバナンスと株主総会、CSR など、企業に関する定性的な情報の充実度を総合的に評価します。
情報開示の積極性・先進性	基本情報の一歩先を進んだ情報開示を評価するカテゴリです。個人投資家向け情報や事業トピックスなどのコンテンツ面、動画・音声配信、ソーシャルメディア、スマートフォン対応などの機能面の両面から評価します。

Gomez について

Gomez は、インターネット上で提供されるサービスを中立的な立場から評価・分析し、

- ・インターネット利用者の利便性向上と E コマース市場などの拡大に貢献するための情報提供
- ・企業向けのアドバイス

を目的とし、消費者・企業双方に対して利益となる情報を掲載しています。

Gomez は、モーニングスター株式会社ゴメス・コンサルティング事業部により運営されています。

本件に関するお問い合わせ

モーニングスター株式会社：<http://www.morningstar.co.jp/> ゴメス・コンサルティング事業部 篠田
電話：03 (6229) 0810 ファクシミリ：03-3589-7963 メール：gomez-info@morningstar.co.jp